

【眼の状態ごとの見え方の違い】

※見え方には個人差があり、見える可能性については目安となります。

見える可能性	眼の状態
高い	<ul style="list-style-type: none">・網膜に変性や欠損、異常がなく、映像を楽しむことができる。・目安となる例:近視、遠視、乱視、老眼
	<ul style="list-style-type: none">・水晶体や角膜に変性や欠損、異常はあるが、網膜の視細胞の感度・分解能が高い。・映像を認識しづらい部分はあるが、おおむね映像を楽しむことができる。
	<ul style="list-style-type: none">・網膜の変性や欠損、異常により、網膜中心部の視細胞の感度・分解能が低い。・網膜周辺部で映像を認識できる可能性がある。
低い	<ul style="list-style-type: none">・網膜の変性や欠損、異常により、網膜全域の視細胞の感度・分解能が低い。・映像は、部分的に認識できる可能性がある。
難しい	<ul style="list-style-type: none">・視神経に障害があり、網膜に投影した映像を脳に伝達することが難しい。・目安となる例:全盲、明るさを感じる程度の見え方